令和４年度富山県高等学校新人大会
第４５回全国高等学校柔道選手権富山県大会
実　施　要　項

富山県高等学校体育連盟
柔道専門部
部長　　亀　遊　知　子

１　主　　催　　富山県柔道連盟　　富山県高等学校体育連盟

２　共　　催　　富山県教育委員会　（公財）富山県体育協会

３　主　　管　　富山県高等学校体育連盟柔道専門部

４　期　　日　　令和４年１１月１９（土）～２０日（日）

５　会　　場　　県営富山武道館

６　競技日程　　１１月１９（土）９：３０ ～　開会式　男女個人試合
　　１１月２０（日）９：３０ ～　男女団体試合　試合終了後　　閉会式

７　競技規則
(1) 国際柔道連盟試合審判規定ならびに富山県体連柔道専門部申し合わせ事項による。
①団体試合
ア　試合時間は３分間とする。
イ　「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」（「指導」差２）以上とする。
ウ　チームの内容が同等の場合は代表選手を行う。代表戦の方法は「８ 競技方法」で定める。
②個人試合
ア　試合時間は３分間とする。
イ　「優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「僅差」（「指導」差２）以上とする。
ウ　試合終了時に技による評価が同等の場合、もしくは、「指導」差１以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
＊「指導」の累積により両者が同時「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時「反則負け」になった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

８　競技方法
(1) 団体試合
（ア）　男子の部
① 参加チームによるトーナメント戦で行う。
② 各チーム間の試合は、点取り試合とする。
③ 試合は各チーム5名で行う。試合ごとのオーダーの変更を認める。
④ トーナメント戦の勝敗は次による。
ア　勝ち数の多いチームを勝ちとする。
イ　アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ　イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
エ　ウで同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の優勢勝ちの判定基準は「技あり」または（「指導」差２）以上とし、試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差１以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。

＊代表戦で「指導」の累積により両者が同時「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時「反則負け」担った場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

（イ）　女子の部

① 参加チームによるトーナメント戦で行う。
② 各チーム間の試合は、点取り試合とする。
③ 試合は各チーム3名で行う。試合ごとのオーダー変更は行わない。
④ トーナメント戦の勝敗は次による。

ア　勝ち数の多いチームを勝ちとする。
イ　アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
ウ　イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
エ　ウで同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は引き分け対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。代表戦は「技あり」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、「引き分け」対戦がない場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

＊代表戦で「指導」の累積により両者が同時「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(2) 個人試合（男子・女子）

（ア）体重別（４階級）及び無差別とする。
（イ）試合はトーナメント戦とする。

9　参加資格

(1) 富山県高等学校総合体育大会開催基準に準ずる。
(2) 令和４年度、富山県柔道連盟を経て、（公財）全日本柔道連盟に登録を完了した者。
(3) 「脳震盪」に関する扱いは以下のとおりとする。

①大会１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
⑤ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(4) 皮膚真菌症（トンズランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合には、大会への出場ができない場合もある

10　参加制限　　(1) 団体試合

男子　　監督１名　　選手６名
・外国人留学生のチーム人員は１名以内とする。
女子　　監督１名　　選手３名　補欠２名

・外国人留学生のチーム人員は１名以内とする。
・補欠は２名に満たなくともよい。
・例外的なケースとして、選手３名でエントリーしたが、怪我等で１名が出場できなくなった場合、出場を可とする。
女子の体重区分は次のとおりとする。
先鋒：５２㎏以下、中堅：６３㎏以下、大将：無差別
なお、体重の軽い者は重い階級に出場できる。また、補欠は該当する階級に出場できる。

(2) 個人試合
男子の体重区分は次の４階級及び無差別とする。
〔60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・無差別〕
女子の体重区分は次の４階級及び無差別とする。
〔48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・無差別〕
・計量にパスしないものは参加できない。（無差別は計量しない）
・外国人留学生の参加人数制限は設けない。
・女子は以下の階級に登録できる。
☆団体・先鋒（52kg以下に登録した場合）
個人は48kg級・52kg級・無差別のいずれかに登録できる。
☆団体・中堅（63kg以下に登録した場合）
個人は48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・無差別のいずれかに登録できる。

11　表　　彰　　団体・個人各階級第３位まで、及び敢闘賞（５人抜き）最優秀賞（団体優勝チームから）優秀賞（団体ベスト４チームから）を表彰する。

12　計　　量　　県営富山武道館・柔道場（男子）更衣室（女子）
期日　１１月１９日（土）８：１０～８：４０

13　参加申込　　(1) 申込先　〒933-8518　富山県高岡市中川1－1－20
富山県立高岡工芸高等学校　　梶谷　正道　教諭
(2) 申込期日　１１月８日（火）１２：００必着

14　参加料　　男女団体試合　１チーム　４，２００円
男女個人試合　１名　　６００円

15　執行部会議　　期日　１１月９日（水）１４：００～
場所　富山県立小杉高等学校　小会議室

16　代表者会議　　期日　１１月１１日（金）　１４：００～　　（地区主任は１３：００まで）
場所　富山県立小杉高等学校　会議室

17　審判監督会議　　富山武道館・会議室
期日　１１月１９（土）　８：５０～
１１月２０（日）　８：５０～

18　感染症対策　　(1)富山県高等学校体育連盟新型コロナウィルス感染症に係る基本方針に準ずる。
(2)全日本柔道連盟が提示している「新型コロナウィルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」に基づいて行う。

19　諸 連 絡　　(1) 選手の変更について

① 団体試合参加申込み後に変更が生じた場合は、所定の用紙により令和４年１１月２０（日）８時５０分までに専門委員長へ届けなければならない。

②参加申込後の団体試合の選手変更は、１名を限度とする。

③女子団体において、登録した選手を抹消する場合は、すでに申し込みをした補欠をその位置に補充し、新たに登録する選手は補欠に入れる。

(2) 女子団体試合出場基準の例外的なケース

①選手３名でエントリーしたが、怪我等で１名が出場出来なくなった場合、出場を可とする。

②補欠に52kg以下の選手を登録していない状態で、先鋒（52kg以下）を抹消する場合、及び補欠に63kg以下の選手を登録していない状態で、中堅（63kg以下）を抹消する場合は、新たに登録する選手を直接、先鋒あるいは中堅に入れることができる。

(3)選手は、必ず当該校引率責任者に引率され、引率責任者は選手すべての行動に対して責任を負うものとする。

(4)引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

(5)監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

※競技補助役員

期　日　１１月１９（土）　１８名　９：００集合

　　１１月２０（日）　１８名　９：００集合

会場準備及び後片付け

準　備　１１月１８日（金）１４：００～　　富山地区

後片付け　大会終了後　富山・新川地区